



強い日差しの下での草刈り作業は、厳しい労働。飛び石などがあるので、防護も重要

水路周辺の除草作業は厳しい

現代農業は大幅に機械化が進み、人の手を直接下す作業は少なくなっています。しかし周辺の除草作業は、人手に頼るしかありません。

多面的機能支払交付金では水路周辺

の雑草管理は「共同作業」として行うように指導されています。当初当会では、それぞれの管理する田んぼに接する畔部の長さに応じて、作業日当を計算していました。

数年前から、そうした計算式について事業の基本方針からふさわしくないという批判が出てきて、全ての距離を対象に全員が取り組むというつくりやりに

直しました。

しかし、従来からの作業環境をひっくり返して行うことは困難なので、5月7日、9月の第一日曜日を除草作業日に予め設定しておき、その時参加できなかった方は、随時自分のご都合で作業をしていただくことにしています。

7月2日が今回の作業日に当たりました。実際に数人の方が早朝から除草作業に取り組んでいただきました。今後ともご協力お願いいたします。

新しい市役所は市の中心部に決まり

山口市の庁舎位置について、自治会連合会からの署名の依頼が先般ありました。多くの署名が集まったようです。

7月15日には、渡辺市長が小郡地域の住民と直接対話する「車座トーク」が地域交流センターで開催されました。市政全般についての説明の後、住民からの直接意見を聞く時間が設けられ、多くの市民がそれぞれの考えを述べました。市長は質問に一つずつ丁寧に答えていました。

市民からの意見の多くは「この小郡

多数の募金をありがとうございます

当地区では8年前から行政のかかわる大きな事業への寄付金について、年度の初めに区費と一緒に集金するシステムを採用しています。

みなさんよくご存じの社会福祉協議会の運営費や、日本赤十字協会の寄付は言うまでもありませんが、社明運動募金はご存知でしょうか。正式には「社会を明るくする運動」で、戦後まもなく東京で始まり今年で67回目となります。刑を終えた人の社会復帰を支援する活動などに使われています。当地区では19,600円の寄付金をお渡ししました。また、ふしの夏まつり実行委員会への協力金が17,300円だったこともご報告いたします。

地区に新庁舎を立てるべき」という考えです。その根拠は、合併の約束だった「合併協定書」の存在です。「新山口駅周辺を適地として検討する」ことが書かれています。

市長の言い分は、その考えを入れて選考した結果、小郡地区の評価はそこまで高くなかったということです。これに選考基準の中に「人口の集積があること」という項目があり、そこでは現在の山口市庁舎周辺に対抗できる場所はありません。

八方原子ども会 夏の練成会行事

八方原子ども会の練成会が7月28日開催されました。会場は宇部市のコランドです。夏休みの間に子ども会として保護者を含めて親睦を含めた練成会です。

かなり以前には地区の海水浴というものもありました。そのころには子ども会は自転車や秋波や秋穂の海岸に出かけたこともありましたが、今考えると

ずいぶんと冒険的な練成会だったかも知れませんが、道中の安全や時間的な余裕もなくなって、施設に出かけて泳いだり食事を楽しんだりするようになったのです。

「ちょっと待った。練成会というなら、やっぱり訓練的なものが必要じゃないか」そういう考えもおありですよね。しかし、何をするにもお互いの顔を



予約の時刻には炭の用意も食材もすべて揃っていて、手ぶらで参加も可能

を合わせての、コミュニケーションが一番大事です。特に保護者世代の親同士の間、また先輩世代との橋渡しなどが、とても重要です。

写真の隣のテーブルには小郡地区の明治東区が同じように来られていました。老若男女問わずの参加に、八方原地区も少々押され気味。お互いにワイワイやりながら期せずして、地域間交流となりました。

施設側もこうした子ども会行事専用のパッケージが用意されていて、とても快適でしたよ。

8月は子ども会が 月曜日
リサイクルを担当 8月20日 曜日



昨年の集積所での会員の作業

8月のリサイクルは子ども会が担当します。今回から、戸別の訪問は原則なしとなります。提出が難しいご家庭は、回覧板に備え付けの集荷依頼を出してください。

八方原ふれあい盆踊りに集まれ



花火は毎回子どもたちの人気

地区の盆踊り大会が左記のように開催されます。おどりや花火に加えてバーもを行います。

八方原ふれあい盆踊り大会には、地元の事業所、自治会、老人会、子ども会などが協力しています。

【日時】8月5日(土) 午後7時より
【会場】エーワンオート横 三角公園

八方原ふれあい盆踊り実行委員会
委員長 本田 昇

ドンドコ、ピーヒャラ

お静かに願います



当地区の隣の岩屋地区には400年も続く「岩戸神楽」があります。伝統文化の伝承には定期的に練習をするのだそうですが、新しい住民の方から「何か大きな音がする」などの苦情が寄せられるそうです。伝統文化も、周辺環境に注意を払う時代になりました。